宗像国際環境会議
学生・漁業者・市民分科会
「常若な海を目指して－海ゴミ問題徹底討論」

マリンスポーツと環境活動

マリンスポーツを通して学んだこと　環境教育への活かし方

鹿児島大学3年 ヨット部　浦 哲郎

MY PROFILE

- 浦　哲郎　　Tetsuro Ura
- 福岡県糸島市出身
- 福岡県立水産高校
  →鹿児島大学水産学部3年
- 高校の部活動でヨットに出会い、
  現在は鹿児島大学ヨット部に在籍

（現在はヨットと並行し、シーカヤックの修行中）

これまでの歩み

●高校2～3年生

・福岡水産高校 Project-T 広報係として活動

・宗像国際環境会議に高校生出演者及び竹魚礁製作スタッフとして参加

この他、様々な環境イベントに参加

→環境活動において「知ってもらう」「伝える」ことの大切さを学ぶ

●大学進学後

・学生分科会企画・運営として瓜生（長崎大）と宗像環境会議に参加

・現在は環境活動に直接携わっておらず、今後マリンスポーツを通した海洋教育に携わる仕事をするための勉強中

本日は、マリンスポーツが環境活動にどのような形で貢献できているのかを紹介します

環境活動を広げるために
海に興味を持つきっかけが必要！！

自然体験

「面白い！！」「楽しい！」
「もっと興味が湧いた」

↓

「海を楽しめるフィールドが無くなってしまう！」
「他の人にも海の面白さを知ってほしい」

→環境活動に発展

マリンスポーツ
＝自然体験の手段の1つ

全て免許がなくても
できるスポーツ
泳げなくても大丈夫

水面上

サーフィン　SUP　ボードセーリング

ヨット
シーカヤック

陸に近い

陸から遠い

水面下

スノーケリング

スクーバダイビング

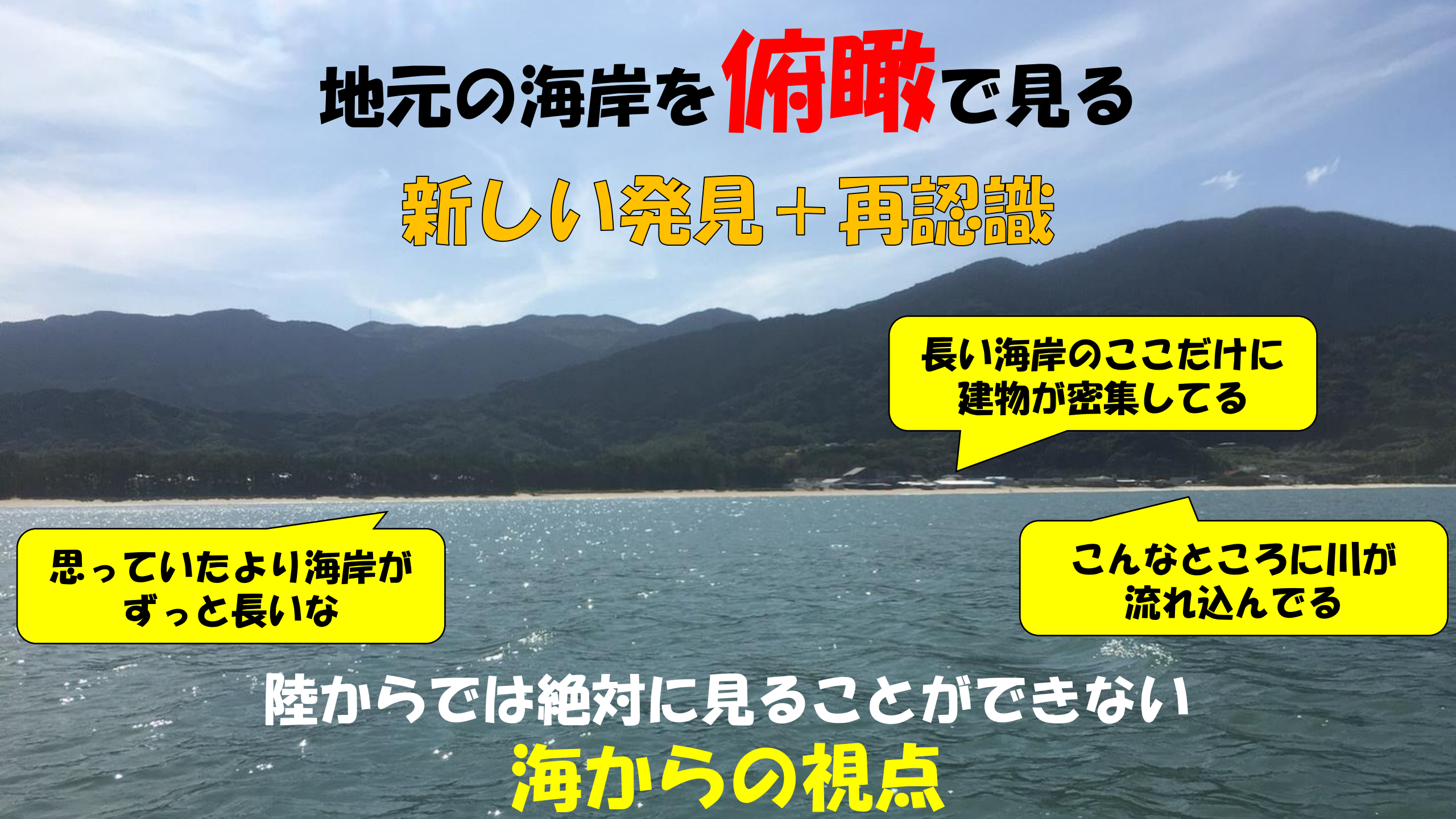
※ボードセーリング＝ウィンドサーフィン
カイトボードなど
※SUP=パドルサーフィン

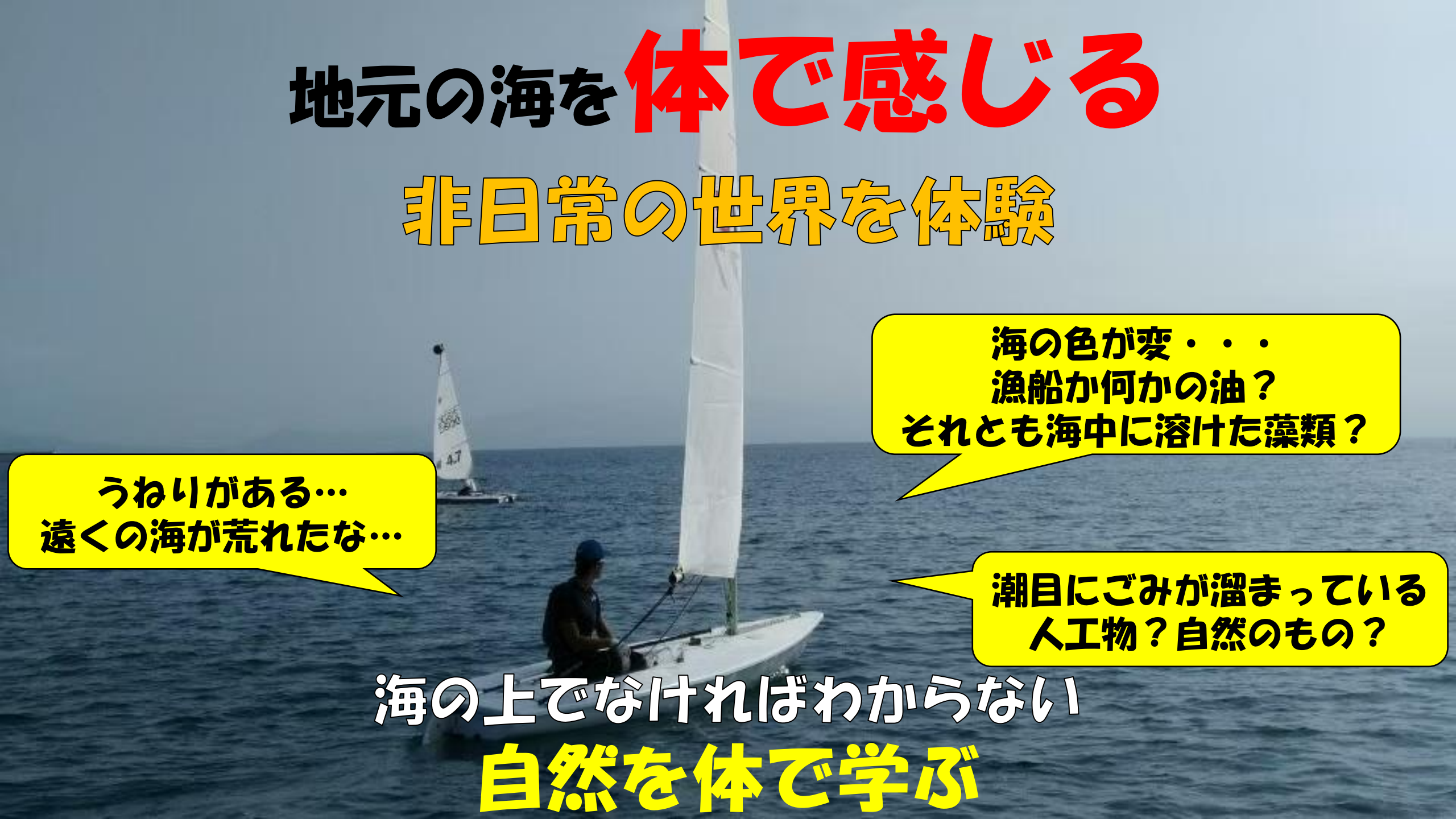
海上散歩を楽しむ！海を旅する！

ディンギーセーリング
（ヨット）

カヤックツーリング

ゆっくり長距離を楽しむならカヤックやSUP
海で爽快感を味わうならセーリング


地元の海岸を俯瞰で見る
新しい発見＋再認識
長い海岸のここだけに
建物が密集してる
思っていたより海岸が
ずっと長いな
こんなところに川が
流れ込んでる
陸からでは絶対に見ることができない
海からの視点


地元の海を体で感じる
非日常の世界を体験
海の色が変・・・
漁船か何かの油？
それとも海中に溶けた藻類？
うねりがある…
遠くの海が荒れたな…
潮目にごみが溜まっている
人工物？自然のもの？
海の上でなければわからない
自然を体で学ぶ

海に出て分かること

自然の状態

→沿岸は砂浜？岩礁？
→ゴミが多い？少ない？どこにゴミが溜まってる？

海や生き物とのふれあい

→波や潮の流れを体で感じる（自然の力を体感）
沖磯に巣をつくる鳥
切れて沖合を流れる海藻とそれに隠れる小魚

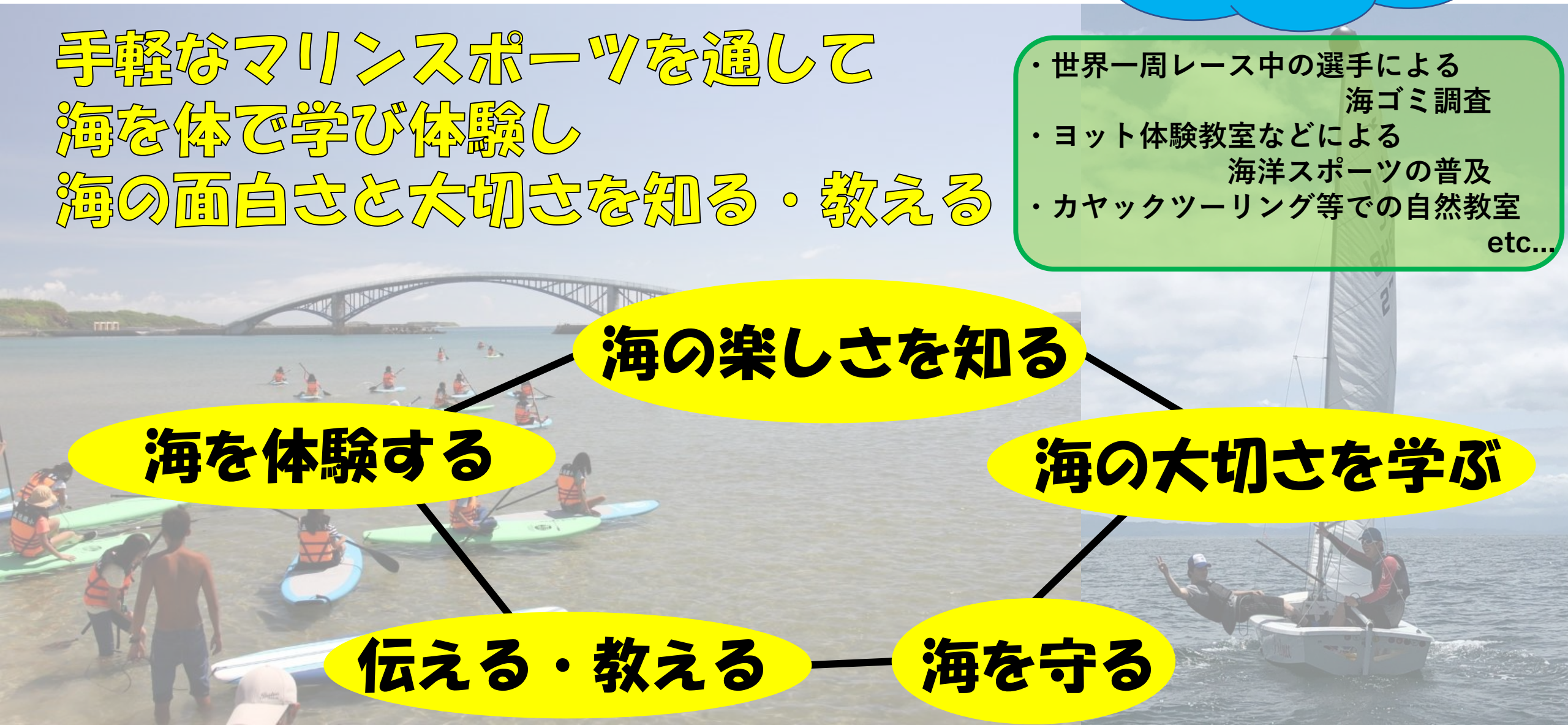
海の楽しさと環境問題を
同時に学ぶことができる

環境活動に生かす！

セーリングレースの世界共通のルールブックにもゴミの投棄に関する事項が記載

手軽なマリンスポーツを通して
海を体で学び体験し
海の面白さと大切さを知る・教える

・世界一周レース中の選手による
海ゴミ調査
・ヨット体験教室などによる
海洋スポーツの普及
・カヤックツーリング等での自然教室
etc...



シーマンシップの精神

最後に
海の恐ろしさも忘れないように・・・

海に出る際、最低限のセルフレスキューの
技術の習得が必要

自分に起きたトラブルは自分で予防・解決する
他人に起きたトラブルは最善の形で助ける

海でけがをしない
海で命を落とさない

マリンスポーツに限らず全ての海洋環境活動に共通です
安全に楽しく、みんなで美しい海を守りましょう！

Thank you for listening

Kagoshima Univ.
Yacht Racing Club
Tetsuro Ura